

令和3年度

江別市の予算

【詳細】
財政課 ☎ 381-1010



令和3年度江別市予算

基本方針

令和3年度は、『えべつ未来づくりビジョン』後期5年間の3年目、中間年にあたります。

当初予算は、これまでの成果を検証し必要な見直しを行いながら、4つの基本理念（「安心して暮らせるまち」「活力のあるまち」「子育て応援のまち」「環境にやさしいまち」と、「協働のまちづくり」）の考え方に基づき編成しました。

また、市が重点的、集中的に取り組んでいくテーマを定めた『えべつ未来戦略』を政策の中枢に据えて推進するとともに、人口減少対策を引き続き進めていく考えです。

なお、新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費は、国の15か月予算に合わせ、別に編成した補正予算で対応しています。

予算規模は増加

一般会計の予算は471億4千万円となり、前年度から21億3千万円（4.7%）増加しています。また、特別会計と企業会計を含めた全会計の合計は、895億7656万8千円となり、前年度と比べて31億4480万6千円（3.6%）増加しました。

増加の理由は、新栄団地建て替え、民間保育施設整備への補助など投資的経費の増加、北海道林木育種場旧庁舎

歳入

【 】内は前年度比

※ 1万円未満の金額を整理して記載しています

国・道支出金 (29.0%)

136億8,571万円

【+11億9,304万円】

特定の事業に対する国・道からの負担金・補助金など

市税 (25.9%)

122億1,400万円

【-4億5,800万円】

個人市民税、固定資産税、軽自動車税など

使用料・手数料など (2.2%)

10億3,571万円

【+2,839万円】

市民会館などの使用料、ごみ処理手数料 など

自主財源
(34.2%)

歳入
471.4 億円

【+21.3 億円】

依存財源
(65.8%)

諸収入 (3.6%)

17億 532万円

【+4,789万円】

その他 (2.5%)

11億6,826万円

【+7,748万円】

地方交付税 (21.1%)

99億6,000万円

【-3億2,000万円】

一定水準の行政サービスを行うために国から配分される交付金

市債 (8.1%)

37億9,970万円 【+11億8,720万円】

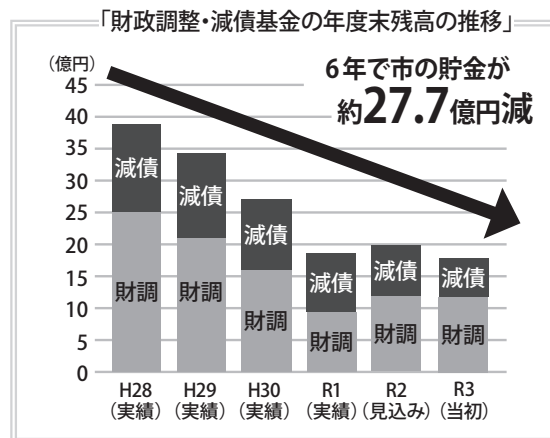
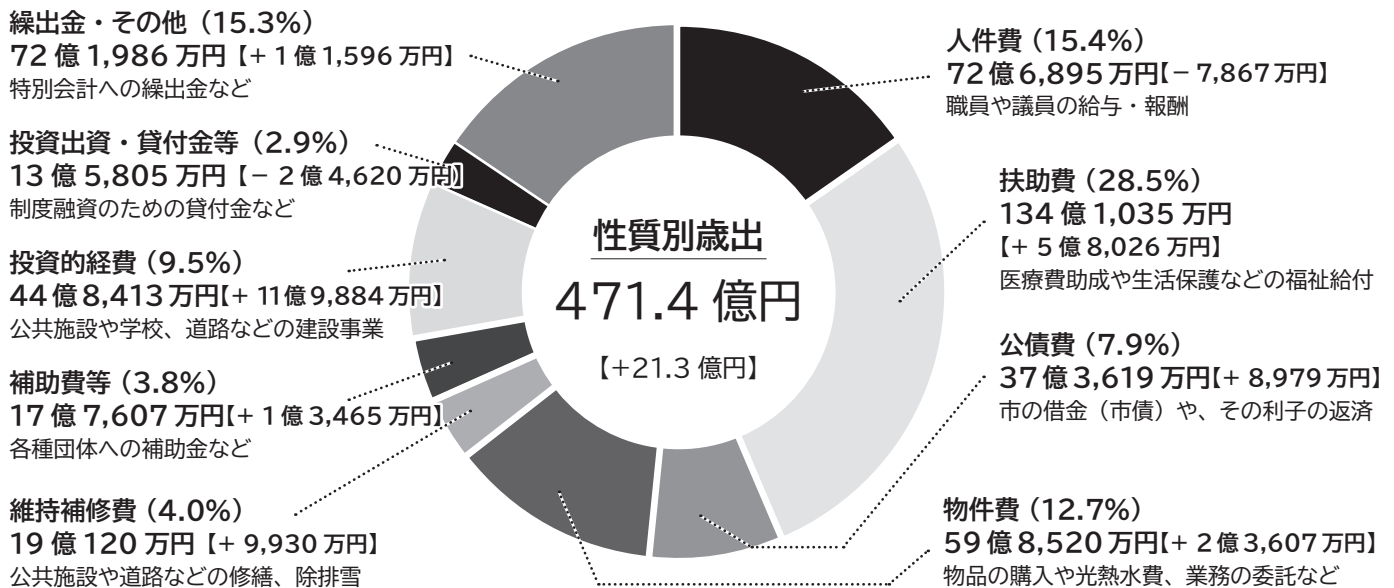
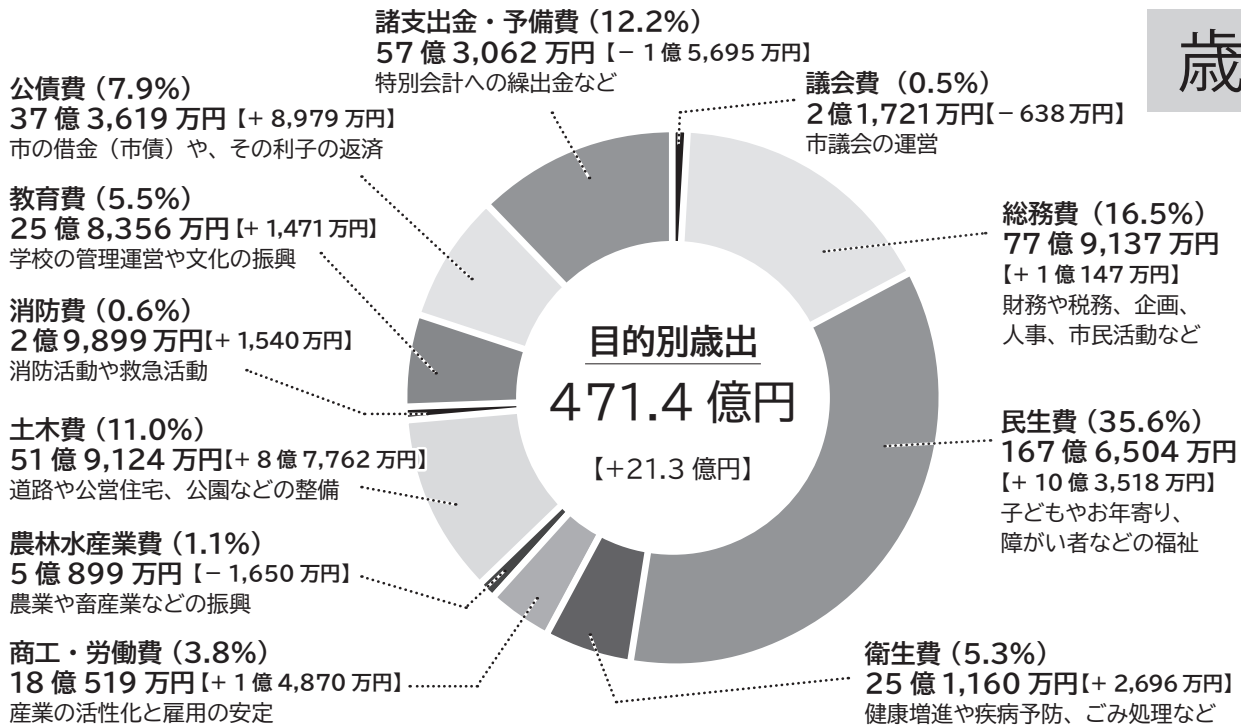
施設や道路建設などのための借入金

地方消費税交付金など (7.6%)

35億7,130万円 【+3億7,400万円】

国が徴収した特定の税のうち、一定の基準で地方に配分されるものなど

歳出



基金は、大型事業の実施、災害など不測の事態への備えなど、目的をもって積み立て、活用しています。

基金残高は、令和2年度に若干の増加が見込まれますが、6年間で見ると減少傾向が続いています（左図）。

今後とも、さらなるコストの縮減や自主財源の確保などにより、健全な財政の維持に努めます。

基金は減少の見込み

また、歳入はコロナ禍のため個人市民税など市税に大幅な減少が見込まれますが、地方交付税等や地方消費税交付金の増加などにより、一般財源総額は前年度と同程度となる見込みです。

や旧岡田倉庫の利活用、はやぶさ運動広場の移転などへの着手、扶助費が引き続き大きく伸びることが見込まれたためなどです。

令和3年度

主な事業

令和3年度予算に計上した事業の一部を、「4つのまちづくりの基本理念」に沿って紹介します。詳細は、「絵で見る江別市予算案」（下記QRコード）をご覧ください。



安心して暮らせるまち

子どもから高齢者まで、あらゆる人が健康的に安心して暮らせるように、福祉・保健・医療サービスを充実するとともに、地域防災力の向上を図り、生活する上での様々な不安を解消して安全・安心を確保することをめざします。



健康都市推進事業（健康フェスタ 2019）

事業名	金額	主な内容
新規 高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業	525 万円	通いの場などへの専門職の派遣による相談など
新栄団地建替事業	9 億 3,268 万円	令和 2 年度着工のE棟建設工事（49 戸）、F棟実施設計
重度心身障がい者等交通費助成事業	1,809 万円	新規 自動車燃料費助成券の交付、タクシー利用券の交付
生涯活躍のまち整備事業	953 万円	新規 ココルクえべつでの地域交流事業の実施
健康都市推進事業	204 万円	野菜摂取の推進、健康チェック等体験型イベントの実施

活力のあるまち

人がいきいきと暮らす活気あふれるまちとなるように、市民の暮らしを支える農業や商工業などの市の産業を活性化するとともに、生きがいや心の豊かさを育む文化やスポーツ活動などを充実し、まちににぎわいや活力を生み出していくことをめざします。



旧岡田倉庫活用事業

事業名	金額	主な内容
新規 北海道林木育種場旧庁舎保存利活用推進事業	9,262 万円	劣化部修繕・安全確保の改修、民間事業者実施の改修工事補助
新規 あけぼのパークゴルフ場改修整備事業	620 万円	1 コース 9 ホールの増設（現況測量、実施設計）
旧岡田倉庫活用事業	1 億 1,825 万円	新規 移設先の用地取得・補償 新規 移設工事に係る現地調査
はやぶさ運動広場移転事業	8,190 万円	新規 「えみくる」に少年野球場を造成
江別産農畜産物ブランディング事業	228 万円	黒毛和牛育成支援、小麦品種「きたほなみ」の作付助成

一般会計以外の予算

市の予算には、一般会計のほか、特別会計と企業会計があります。それぞれ公共料金や利用料などの独自収入があり、一般会計と切り離すことで、事業の収支が明確にわかるよう、一般会計と区別しています。

特別会計の予算

252億9,400万円
(前年度比8億600万円増)

- ・国民健康保険特別会計
122億8,000万円
- ・後期高齢者医療特別会計
19億800万円
- ・介護保険特別会計
109億9,100万円
- ・基本財産基金運用特別会計
1億1,500万円

企業会計の詳細は
6ページをご覧ください。



GIGA スクール構想推進事業（多機能大型ディスプレイを活用した授業）

市の未来を担う子どもたちが健康に成長できるように、子育て支援や教育内容などの充実を図ることで、子どもを生み育てる魅力あふれるまちをめざします。



子育て支援のまち

事業名	金額	主な内容
民間社会福祉施設整備費補助事業	6億1,126万円	民間保育施設整備補助、保育所などの事故防止推進事業補助
放課後児童クラブ運営費補助金	1億4,783万円	待機児童の発生が見込まれる小学校区などに新規に3クラブを開設
情報教育推進事業	7,152万円	指導者用デジタル教科書の整備（中学校の主要5教科）
GIGA スクール構想推進事業	2,712万円	整備済みのタブレット、大型ディスプレイの維持管理費
子育て世代包括支援事業	1,004万円	妊婦面接・支援プランの作成、産後ケア事業、巡回型親子健康相談

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策補正予算 10億8,209万円

※国の15か月予算に沿って令和3年度に繰り越して執行

- ワクチン接種事業 **6億7,875万円**
16歳以上の全市民を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種に必要な経費を計上
- 新型コロナウイルス感染症対策事業 **4億334万円**

主な事業名	金額
高齢者福祉施設職員等に対するPCR検査等実施事業	1億8,077万円
江別商工会議所補助金	4,600万円
学校教育活動継続支援事業	2,760万円
消防活動感染防止対策事業	1,868万円
PCR検査センター運営事業	1,349万円
学生アルバイト雇用農業者給付金	1,003万円
自治会館運営補助金	410万円
介護事業者連携事業	371万円
災害対応物品整備事業	300万円
新型コロナウイルス地域医療連携事業	285万円



環境教育等推進事業（買い物ゲーム）

市の豊かな自然を次代に引き継いでいけるように、再生可能エネルギーの推進やごみの資源化を推進するとともに、野幌森林公園や石狩川などの自然環境と触れ合うことにより、人と自然が共生するまちをめざします。



環境にやさしいまち

事業名	金額	主な内容
新規最終処分場整備事業	2,200万円	最終処分場基本構想策定
ごみ収集運搬業務委託	4億236万円	ごみ収集運搬・問い合わせ業務の委託
ごみ処理手数料等管理経費	8,546万円	指定ごみ袋などの製作など
自治会防犯灯設置費補助金	891万円	防犯灯設置費補助、LEDへ更新時の奨励金
環境教育等推進事業	339万円	えべつ環境広場の開催

市立病院

詳細
管理課財務係
☎ 382-5151



市立病院HP

集中改革期間2年目の取り組み

市立病院は令和2年度からの3年間で集中改革期間とし、経営再建に取り組んでいます。

また、3月には「江別市立病院経営再建計画」を策定しました。

初年度の令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から厳しい経営状況となりましたが、発熱者専用診察スペースの設置、検温チェック、健診センター開設など、感染症対策を徹底し、コロナ禍でも必要な医療の提供に努めました。

令和3年度は、「江別市立病院経営再建計画」に基づき、引き続き感染症対策を徹底しながら左記の事項に取り組むことで、市民のみなさんに安全・安心な医療を提供するとともに、経営改善を着実に進めてまいります。

主な取り組み事項

(1) 感染症対策

- ①市民向けの新型コロナウイルスワクチン接種
- ②市内高齢者施設等職員向けのPCR検査実施
- ③発熱者専用診察スペースの継続設置

(2) 診療収益等の改善

- ①コーディング精度、指導料・管理料の算定率向上
- ②夜間100対1急性期看護補助体制加算の取得
- ③精神保健福祉士の増員（精神科病床利用率向上）
- ④院外処方の推進、薬剤管理指導業務等の充実
- ⑤健診センターのさらなる効率的な運用やPR
- ⑥在宅療養指導等の充実

(3) 働き方改革の推進

- ①医師事務作業補助の業務範囲の拡大検討
- ②夜勤看護補助者の配置（看護師の業務負担軽減）

(4) サービス向上（デジタル化への対応）

- ①マイナンバーカードでの健康保険証資格確認に対応
- ②スマートフォン対応の診察番号通知システム導入
- ③オンライン診療・面会（感染症対策）

(5) 地域医療連携

病院広報紙活用などの診療体制の積極的な情報発信による地域医療機関との連携強化

(6) 専門職の養成

医療の質向上のため、感染管理認定看護師、緩和ケア認定看護師を養成

(7) 費用縮減

- ①診療材料の価格交渉、安価同等品への切替え、院外処方推進による薬品費と、検体検査部門の運用見直しによる材料費の削減
- ②検体検査機器保守委託料の削減、医事業務、リネン業務、電気料金見直しなどによる経費削減

予算と前年度の比較増減

区分		令和3年度	令和2年度 (決算見込み)	比較増減
入院	収益	33.3 億円	28.1 億円	5.2 億円
	患者数	73,000 人	64,580 人	8,420 人
	1日平均患者数	200 人	177 人	23 人
外来	収益	18.2 億円	15.6 億円	2.6 億円
	患者数	134,552 人	121,133 人	13,419 人
	1日平均患者数	556 人	498 人	58 人
当年度純損益		-1.3 億円	-11.3 億円	10.0 億円
一般会計繰入金 ※1		15.1 億円	15.9 億円	-0.8 億円
一般会計長期借入金残高 ※2		22.8 億円	22.8 億円	0.0 億円
累積欠損金 ※3		124.4 億円	123.2 億円	1.2 億円
不良債務残高 ※4		10.6 億円	12.2 億円	-1.6 億円

※1 総務省基準などにに基づき、一般会計が負担している金額。

※2 一般会計から借り入れた金額の残高。集中改革期間中は返済猶予。

※3 病院開設以来の各年度損失額を積み上げた数値。不良債務、他会計長期借入金、企業債などの負債（借金）とは異なる。

※4 公営企業における資金の不足額。流動負債が流動資産を超える額のこと。

下水道事業会計

55 億 1,240 万円 (+6,252 万円)

主な事業

- ・管路整備事業…………… 1 億 6,471 万円
- ・管路施設改築更新事業…… 1 億 9,222 万円
- ・処理場、ポンプ場施設改築更新事業…………… 7 億 5,320 万円

水道事業会計

38 億 9,770 万円 (+1 億 1,018 万円)

主な事業

- ・基幹管路耐震化事業…………… 3 億 7,349 万円
- ・配水管整備事業…………… 2 億 3,443 万円
- ・配水施設整備事業…………… 1 億 1,550 万円
- ・浄水施設整備事業…………… 1 億 340 万円

令和3年度の上下水道事業は、上下水道ビジョンに基づき、基幹管路の耐震化や下水道管路の整備などを行います。

詳細
水道部総務課財務係
☎ 385-1214

上下水道